

町田市議会
2023年
第3回定例会

図書購入費が市民1人あたり83円

市立図書館に新しい本を!

日本共産党町田市議団



市内にある8館の1つ、市立木曽山崎図書館

図書購入費は
多摩地域で連続最下位

9月議会に「町田市立図書館の資料購入費の増額を求める請願」が出され、文教社会常任委員会で審議されました。請願は「公立図書館が、市民の知る自由や学習権を保障する社会インフラとしてき

町田市議会2024年第3回定例会が、8月29日から9月29日まで行われました。共産党など全会派代表者（諸派含む）が提出した「018サポートの給付金を生活保護の収入認定から除外するよう調整することを求める意見書」が多数で可決しました。2022年度一般会計・特別会計決算認定について、共産党は討論を行い反対しました。

わめて重要な施設だ」として、他市に比べてあまりに少ない図書購入費の増額を求める内容です。町田市の図書購入費は下図のグラフのように、多摩地域の自治体の図書購入費の平均の3分の1と大変少ない状況です。背景に市の行政経営改革での経費削減が進められていることがあります。審議の中で、町田市は、電子書籍などのサ

ービスを始めたことや、図書館の再編や民営化の中で資源の再配分をしていくと答弁しており、抜本的な図書購入費の増額には背を向けています。請願は委員会では賛成多数となったものの、本会議では賛成少数で不採択となりました。共産党市議団として、賛成討論を行いました。



自転車用ヘルメット
2千円の購入補助 実現!

9月補正予算では、道路交通法の改正により、すべての自転車利用者にヘルメットの着用が努力義務となったことから、市議団が求めてきたヘルメット購入補助（上限2千円）が5千件分盛り込まれました。申請方法については、町田市HPか10月1日付け「広報まちだ」をご覧ください。



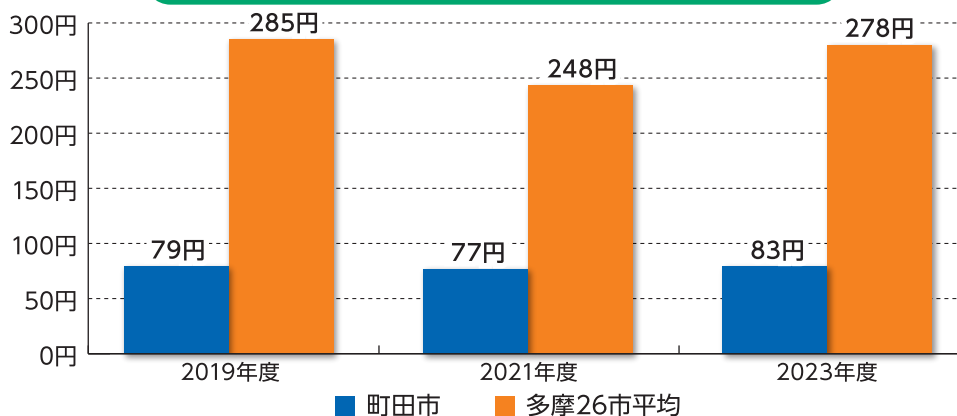
ヘルメット着用で自転車も安全に



図書館減らしでなく
もっと身近に図書館を

南・成瀬地域や小山地域などには市立図書館がないために、図書カードを作るために遠くの図書館まで行くこととなります。連携する近隣自治体の図書館が利用できるが、図書の予約はできないなど、利用できるサービスがありません。市民の要望は身近な行きやすい場所に図書館があることです。そうした市民要望に反して、市は公共施設再編の計画の中で図書館を減らす計画を進めています。税金の使い方を市民の身近なサービス拡充に振り向けることが必要です。共産党市議団として、引き続き取り組んでいきます。

町田市と多摩26市の人口一人あたり図書購入費



*東京公立図書館調査より作成。2019年度は「不明」の国立市、清瀬市、2021年度は「不明」の清瀬市を除く。